

「江田島が好きじゃけえ、もっと知ってもらおうや！」 ～本当の江田島の魅力とは？～

本単元と関連する9年間で育成する資質・能力

主体性

日時：令和4年11月14日（月）第5校時

1 指導の方向性について

○単元観

【2学年テーマ 地域を再発見】

江田島市は、広島県南部に位置する人口約22000人の島しょ部の市である。豊かな自然や海に囲まれた温暖な気候の瀬戸内海に浮かぶ島である。年々過疎化が進みつつある中で、島の自然や気候などの環境を生かし、この島の伝統産業を守り続ける人や、江田島の地の利を生かして新たな特色ある産業を生み出す人がいる。また、江田島に魅力を見出し移住する人も少しずつ増加している。そんな江田島ならではのよさを、島内の人でさえ、語れないばかりか存在さえ知らないこともある。

本単元では、江田島の様々なよさについて整理し、体験的にそのよさを理解し、キャリア学習の観点からも、自分の生き方を考えることができる単元である。また、よさを理解するだけにとどまらず、よさを伝える機会を作ることでもできる単元である。

これらの学習活動を通して、自ら興味・関心をもって探究活動に取り組もうとする力や、仲間と協働して問題解決をする力を育てたい。また、他地域との比較を通して、新たな視点や考え方を身に付けることで、愛する郷土を語り合える態度を育てたい。

○生徒観（第2学年 34名）

【生徒の実態】

本学年の生徒は、昨年度の里海学習から本市の海の問題に着目し、課題解決にチャレンジしながら江田島の様々な魅力を考えてきた。

1学期の総合的な学習の時間では、昨年度の学習を振り返り、地域の魅力である伝統産業や特産物について知っているけれども、それはインターネットで知ることができるものであると気づき、自分自身の体験や実感から、地域のよさを自分の言葉で語れていないことを自覚することができた。また、地域の祭りに実際に参加している生徒ですら、伝統文化を引き継ぐことの意義やよさに気付いていない現状がある。

【9年間で育成する資質・能力と関連する実態】

「主体性」…「授業では、課題の解決に向けて、進んで資料を集めたり取材をしたりしている。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。」という項目に対し、ほとんどの生徒が肯定的に捉えているが、共に約25%の生徒が「あまり当てはまらない」と答えており、主体的に学ばせることの難しさを感じている。

○指導観

【本単元における指導の方向性】

- 単元を貫く問いとして「本当の江田島の魅力とは？」を設定し、これまでに調べ学習で学んだり出会ったりした江田島のよいもの、よい場所、江田島市で働く人たちの思いと自分たちの思いについて話し合い、考える時間を確保し、生徒一人一人が学習課題を考えることができるようにする。また、キャリア・スタート・ウィークや個人の取材活動、修学旅行先での他中学校との交流などの体験的な活動を通して、再発見した江田島のよさを、他者に発信する学習活動を設定する。今年度は、地域のひと、もの、ことに、様々な形で出会わせる仕掛けを作り、生徒の主体性を喚起する単元を構想していく。

単元の第一次として、「本当にそれは江田島の魅力なのだろうか？」を考えることを通して、江田島の特徴やよさについて知識や経験等、自分の考えの根拠となるものがあるのかを自問し自覚させ、必然性のあるインタビューや体験活動を自ら企画し実施できるようにする。第二次では、体験や取材活動で実感した江田島のよさを各自でまとめる学習を通して、探究的に学び続けることの楽しさや大切さを味わってもらいたい。第三次では、自らが再発見した江田島の魅力を発信する相手やその方法を、考え実践する活動を通して、相手の評価から江田島の魅力に対する自分の考えを再構築したり、新たな価値を発見したりすることから、相手に分かりやすく伝えることのよさや、探究的に学び続ける意義を考えさせたい。

- 探究的な学びを実現するために次の2点に留意して指導する。

①生徒が主体的に学ぶための支援

学習計画表を用いて、長期の学習内容の計画を立てさせることで、生徒に見通しをもった学習活動をさせる。また、振り返りシートを活用し、課題に対して自分ができたことやできなかったことを整理させることで、次の学習で自分がしなければならないことの見通しをもたせる。

②学習体制の多様化

生徒の主体的で深い学びに繋がるように、個人の活動とペアやグループ活動を効果的に組み合わせるようにする。また、「主体性」を育成するために、自らの行動計画を立てさせ実行し、本物と出会える活動を生徒自身が仕組めるように支援していく。

2 小・中9年間で育成したい資質・能力

	前期（小1～小4）	中期（小5～中1）	後期（中2～中3）
主体性 □やる気 □自主性 □課題発見力	自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。		
	身近な人・もの・ことに関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動している。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動するとともに、解決への見通しをもち、他者の考えを受け入れ、探究的に解決を目指している。
伝え合う力 □表現力 □傾聴力 □対話力	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の意見を受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。		
	自分の考えや思いを、言葉・絵・動作・劇・資料によって、相手に伝えたり、自分の学習を振り返ったり、自分の学習を振り返ることができる。	伝える内容が、相手に分かりやすく伝わるように、目的に応じて資料を作ったり、複数の資料を組み合わせたりして表現することができる。	目的や相手に応じて、精査した情報を吟味したり、資料を再構成したりして、根拠を明確にして適切に表現することができる。
やり切る力 □最後まで □粘り強く	課題解決の過程においてあきらめず取り組み、最善解を導き出すことができる。		
	自分のよさに気付くとともに、目標に向かって頑張ることができる。	自分のよさや可能性に気付き、夢や目標に向かって努力することができる。	自分の特性を生かして、夢や目標に向かって努力するとともに、自己を高めることができる。
			高い志をもち、自分の理想に向かって努力を惜しまず、行動することができる。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標		
<p>「本当の江田島の魅力とは？」を問い続けることを通して、私たちが暮らしている地域のよさや、地域で働いている人や住んでいる人の思いや願いに気付き、知識や体験から学び、得た情報を比較・整理・分析し、持続可能な江田島市の在り方と自分の将来を結び付けて考えるとともに、地域と関わる中で、自分が地域のよさを発信することについてできることを考え、行動しようとする。</p>		
単元の評価規準		
(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 自分たちが暮らす地域のよさや、それに関わる人々の願いや思いを理解している。</p> <p>② インタビューや調べ活動などを目的に応じて適切な方法で実施している。</p> <p>③ 江田島のよさを伝えるために、様々な立場や視点で考えることや、情報発信が大切であることを理解している。</p>	<p>① 地域のひと、もの、こととの関わりを通して感じた関心をもとに課題を見付け、解決に見通しをもっている。</p> <p>② 課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集し、目的や種類に合わせて蓄積している。</p> <p>③ 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を比較し、関連付けて考えている。</p> <p>④ 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>① 課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、役割を意識して探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 自他の意見の考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。</p> <p>③ 地域やゲストティーチャーとの関わりの中で自己の生き方を考え、自分でできることを見付けようとしている。</p> <p>【主体性】</p>

4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
地域の魅力とは？



【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
本当の江田島の魅力とは？



【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）

- 江田島のよさを語れるようになったか？
- 本当にそれは江田島の魅力なのだろうか？ ○江田島の魅力を活用している人は？
- 江田島の魅力を再発見できた？ ○江田島の魅力は他の地域の人にも魅力なのだろうか？
- その魅力を誰に伝えるか？ ○どのような方法で伝えるか？ ○他の地域の魅力と比較すると？
- 新たな発見を誰に伝えたい？

5 単元の計画（全 65 時間）

次	学習活動	知	思	主	評価方法
第一次 ⑥	実態把握と学習の見直し <ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年で学習した内容や、学習で身に付いた力などを振り返る。 ○ 修学旅行先の東谷中学校との交流で、江田島のどんな魅力を語るかを話し合う。 ○ 江田島のよいところやものについて意見を出し合い、既有知識を共有する。 ○ 体験や実感の伴わない魅力は、本当の魅力として語れないことを自覚する。 ○ 学年テーマ「地域を再発見」と「本当の江田島の魅力とは？」という単元を通した問いを提示し、単元終末時の学習課題について考える。 		①		行動・発言 ワークシート ルーブリック
第二次 ④⑨	体験活動・情報の整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ○ どうすれば、実感のある江田島の魅力を語れるようになるかを話し合う。 ○ ゲストティーチャーを呼んで、江田島の魅力を活用している企業や、地域で働く人の江田島に対する思いと自分たちの思いを比較する。 ○ キャリア・スタート・ウィークを通して、江田島で働く人たちの思いを取材し、考えを深める。 ○ 国語科「表現を工夫して書こう」を生かし、事業所の方にお礼状を書く。 	① ②	②	① ③	行動・発言 ワークシート ルーブリック
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行先で自分が発信したい江田島の魅力のテーマを決めて、知っていることと知りたいことを整理し、課題解決に向けて計画を立てる。 ○ 自分が設定したテーマの江田島の魅力をより詳しく調べるために、自分で計画した体験・インタビュー等の個人活動を行う。 ○ 各自の体験活動をもとに収集した情報を整理・分析し、効果的な発信方法を考え、成果物作成に向けた準備を行う。 	②	② ③	②	行動・発言 ワークシート ルーブリック
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行先での交流に向けて、各グループ同士で江田島の魅力をプレゼンテーションし、互いに評価し合う。 ○ 体験やグループ交流を通して、江田島の魅力を作る人々の思いや江田島ならではの取組に気付く。 ○ プレゼンテーションの評価から改善点を整理し、よりよい成果物作成と発信方法の改善を行う。 <p>【本時 54/65】</p>	③	③ ④	②	行動・発言 成果物 ワークシート ルーブリック
第三次 ⑩	表現・まとめ <ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島以外に住む人に江田島の魅力を発信する。 (北九州市立東谷中学校2年生との交流) ○ 東谷中学校での他者評価と自己評価を踏まえ、改めて「本当の江田島の魅力とは？」という問いについて、自分の考えをまとめる。 ○ 自分が実感した「本当の江田島の魅力」を知らせたい人々に向けて、学習の成果を発表する準備を行う。 ○ ゲストティーチャーを呼んでまとめの学習発表会を実施する。 ○ 自分が実感した「本当の江田島の魅力」を発信する意義を考えることを通して、これからの地域と自分の在り方や生き方を考え、学習の振り返りをする。 	③	④	③	行動・発言 成果物 ワークシート ルーブリック

6 本時の展開 (54/65 時間)

(1) 本時の目標

相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、発信内容を改善している。(思考・判断・表現④)

(2) 学習展開

	生徒の学習活動 ○発問 ・予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ●評価
課題の設定	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まずは、前時に評価してもらった内容で、質問したいことがあったら評価者に聞いたり、班で相談したりして改善点を整理しよう。 ○ 具体的な改善策を発表してください。(複数班発表) <ul style="list-style-type: none"> ・文字が多かったのを、文章を整理して一見して関心を持ってもらえるようなスライドに改善します。 ・魅力を説明するなら、もっと自分が感動した内容を入れた方がよいと思いました。 ・特産物の紹介だけでなく、それに携わる江田島のひとの魅力も付け加えた方が、より魅力が伝わるので付け加えます。 ・オリーブの説明は、実物を見てもらうと実感してもらえと思うので、実物を活用した魅力を発信したいです。 ○ 自分たちが実感した魅力を伝えるために、どんな工夫が必要か、仲間の意見を生かしながら、発信方法の改善をしよう。 <p>2 本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前回の振り返りを見て、今日のめあてを確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に、活動を振り返り、本時の目標を設定させる。
<p>めあて 仲間の考え方を生かして、相手に分かりやすい発信内容に改善しよう。</p>		
整理・分析・表現	<p>3 改善点を共有し、整理・分析し、よりよい表現の工夫を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改善点を共有して、必要なら分担して改善を進めよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・特産物の紹介に、自分の感想も付け加えたから変更したところを聞いてほしい。 ・ひとの思いは説明だけでもいいかな。 ・著作権の確認をきちんとしよう。 ・取材した人の写真もあった方がいいよね。でも許可をもらわないといけないね。 ・先生に見てもらってアドバイスをもらいたい。 ・他の班に聞いてもらって、改善できているか確認したい。 ○ 改善できたところを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・聞いた人が想像しやすいように、写真の説明を付け加えました。 ・パッと見て興味を持てるように文字を少なくしました。 ・写真を載せたい人に電話して許可をもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習形態(個人・ペア)は生徒の学習状況に応じて、各々判断させる。 ・教師は、学習状況を常に把握し、進捗状況によっては、円滑な活動を促す。 <p>●相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。(思考・判断・表現④)</p>
振り返り	<p>4 学習の進捗状況を自己評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習を振り返って、自分の学習を評価しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが分かりやすく整理できた。 ・インタビューした人の写真を入れることで、説得力が増したと思う。 	

(3) 本時のルーブリック

目標	相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、発信内容を改善している。
A	相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、説得力のある発信内容に改善している。
B	相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、発信内容を改善している。
C	相手や目的に応じて、分かりやすくまとめることが難しい。

(4) 板書計画

11/14 江田島の魅力を再発見

学習の見通し

東谷中学校との交流

↑

整理・分析・まとめ ←

↑

振り返り

↑

体験活動

めあて **仲間の考え方を生かして、相手に分かりやすい発信内容に改善しよう。**

インタビューや取材活動の成果物

※別途電子黒板に、学習の見通しを掲示し、進捗状況が分かるようにする。

生徒に配布する自己評価シート (例)

月 日 ()	A(完璧!)	B (まあまあ)	C (いまいち)				
本時のレベルアップしたいかに○しよう	120%	110%	100%	90%	80%	70%	60%以下
主体性・伝え合う力・やりきる力							
評価の理由：どのようにして何ができたか・できなかったか。それは、どのような対策が考えられるか。							
自分の課題の進み具合について	120%	110%	100%	90%	80%	70%	60%以下
次の学習に向けての目標							